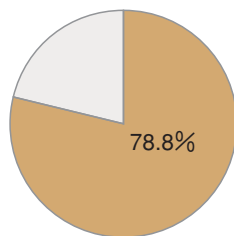


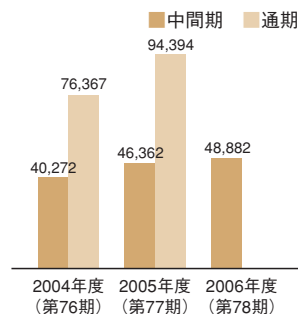
事業別の概況

■電子事業

●売上高構成比率



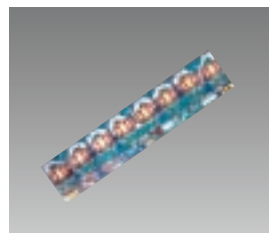
●売上高 単位：百万円



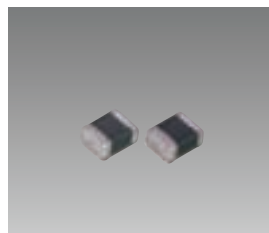
●売上概況

電子事業においては、液晶ディスプレイ用信号処理モジュールおよび液晶バックライト用インバータモジュールが、大型液晶テレビへの需要増加を受け、前年同期を上回りました。スイッチング電源は、主力のサーバ用が伸長し、前年同期を上回りました。モータは、価格競争が厳しいなか、小型モータおよびOA機器用がそれぞれ伸長し、前年同期を上回りました。また、積層チップパワーインダクタは、顧客ニーズに合わせた製品ラインアップの拡充や携帯電話を中心とした販売の強化が寄与し、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ5.4%増の488億82百万円となりました。



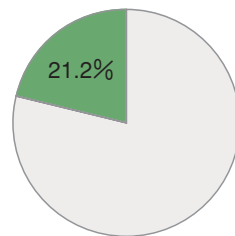
液晶バックライト用
インバータモジュール



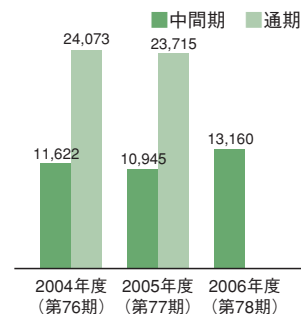
積層チップパワーインダクタ

■電池事業

●売上高構成比率



●売上高 単位：百万円



●売上概況

原材料価格の大幅な高騰の影響を受けております電池事業は、中核製品のアルカリ乾電池が、厳しい国内市場環境のなか消費者ニーズを反映させて開発した、富士通アルカリ乾電池「G.D.Rシリーズ」を発売し、販売強化に努めました。海外においては、北米ならびに欧州からの受注が伸長しました。また、家庭内火災報知器設置を義務化する法改正に伴い、同報知器に組み入れるリチウムボビン電池が、伸長いたしました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ20.2%増の131億60百万円となりました。



富士通アルカリ乾電池
「G.D.Rシリーズ」(単3形)



リチウムボビン電池 (CR8形)